

運営委員会報告

第10回運営委員会

運営委員長
坂部知平

平成16年1月15日、第10回運営委員会がSBSPハウス2階・トレーニングホールにて開催された。出席者(敬称略)は大瀧静夫(協和発酵)、大山拓次(生物分子工学研・森川耿右代理)、鎌田健司(万有製薬)、木下誉富(藤沢薬品工業)、坂部知平(FAIS)、鈴木榮一郎(味の素)、鈴木誠(第一製薬)、櫻井正博(エーザイ)、祥雲弘文(東大)、白鳥康彦(中外製薬)、玉田太郎(キリンビール)、畠忠(三共)、東常行(理学電機)、松崎尹雄(三菱化学)の14名であった。議長に畠忠氏が選出された。表1の議案に従い活動報告及び議事が行われた。

表1. 第10回運営委員会議案

開催日時：平成16年1月15日(木) 11:00～13:00
開催場所：高エネルギー加速器研究機構内SBSPハウス2階

活動報告：

1. 行事委員会
2. 機関紙の発行
3. BL6B及びBL6C
4. Serverについて
5. 宮本康宏氏辞職
6. 塩野義製薬(株)脱会
7. その他

議 題：

1. 平成14年度収支
2. 平成14年度収支監査
3. 平成15年度予算案
4. 企業代表の交代について
5. その他

I. 活動報告：()内は報告者氏名・敬称略

1. 行事委員会(畠忠)

SBSPが始まってから丸8年が経ち、その間、各企業はかなりの成果を挙げられたと思われる。そこで、本日平成16年1月15日午後1時半より高エネルギー加速器研究機構4号館1回セミナーホールにて「構造生物学坂部プロジェクト参加企業成果発表会」を開催する。

2. 機関紙の発行 (櫻井正博)

1) 編集委員交代

曾我部智委員が編集委員を辞任しその後任に櫻井正博氏 (エーザイ) が就任された。栗原宏之委員の後任として松本拓男氏(三共)氏が就任された。

2) 委員長交代、

栗原委員長の配置転換(10月1日付)に伴い編集委員及び委員長を辞任されたので、平成15年9月17日に開催された第24回編集委員会において櫻井正博委員が委員長に選出された。

2) 年3回発行

「構造生物 8-3、9-1、9-2」の計3回発行した。機関紙発行のため編集委員会を計3回開催し、記事の企画、原稿やスケジュールの確認、分担等を行った。

3. BL6B 及び BL6C (坂部知平)

1) 運転期間について

平成14年度後期運転 1月16日(木) ~2月27日(木) Vol.8, No.3, p46

平成15年度前期運転 5月12日(月) ~6月29日(日) Vol.9, No.1, p58

平成15年度中期運転 10月1日(水) ~12月23日(火)

2) BL6B について

① R-AXISIV++は極めて順調に稼働している。

② 14年12月4日 Oxford 社製の低温吹きつけ装置が故障したので、急遽(株)リガクより窒素ガス抽出型試料吹きつけ装置 (cat.no.2364B302) 及びその付属品である空冷型循環送水装置 (cat.no.4811D) を購入した。順調に稼働している。

③ MAD 法を行う頻度は少ないが、良い結果が得られ、MAD 法が定着した。

3) BL6C について

実用レベルに到達した。100K付近で2Znインスリン結晶の分解能0.7Åのデータ収集に成功した。他では指数付けが出来ない結晶のデータ収集が可能になるなどの成果を収めている。

4. Server について (坂部知平) 詳細は本号 6頁参照

現在使用しているサーバーは既に3年を経過し、その間に新製品の機能は上がりしかも値段は下がっている、それに対し保守料は据え置きなので、保守料は新製品の70%にも達する。言い換えると、下記の性能(約倍)のものが1年分の保守料に約30%加えると購入でき次年度からの保守費も安くなる。従って全体のコストが下がるので買い換えた。

今回購入したサーバーは此まで使用してきた Alpha サーバー DS20E (CPU667MHz) の上位機種 DS25 (cpu 1GHz) に当たり、購入価格は税込みで420万円である。

これまで毎日、自動バックアップを行い半年保存してきたが、殆どの利用者は各自データを各自のメディアにコピーし持ち帰っており、事実上自動バックアップする必要が無いこと、および、自動バックアップの機能を今後保持するためにはその保守費がかさむこと等の理由により、今後バックアップは行わない予定である。

5. 宮本康宏氏辞職 (坂部知平)

本誌 Vol.9.No.2.64 ページのご挨拶欄に掲載されましたように、平成15年9月末日を持って宮本康宏氏が転職のため辞任した。

6. 塩野義製薬(株)脱会について

塩野義製薬の委員は岬真太郎氏ですが、もう一人のメンバーである山根潤二氏より「来年度より脱会する」との社の意向が伝えられた。

7. その他

なし。

II. 議 題：

1. 平成 14 年度収支 (坂部知平)

表 2 に示す平成 14 年度収支決算が各項目毎に分けた支出リストを基に報告された。

表 2. 平成 14 年度決算報告書

自 平成 14 年 4 月 1 日

至 平成 15 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
味の素	4,000,000	物構研経費	16,200,000
エーザイ	4,000,000	FAIS経費	2,160,000
協和発酵	4,000,000	建設費 (BL6C、他)	16,449,820
キリンビール	4,000,000	計算機、電子部品、保守費	1,596,351
三共	4,000,000	建設費外の備品費、保守費	7,139,788
塩野義製薬	4,000,000	プログラム整備、保守費	1,725,980
生物分子工学研究所	4,200,000	印刷、通信費、電話代	3,154,511
第一製薬	4,000,000	消耗品費	1,436,238
日本ロシュ	4,000,000	人件費	18,120,224
萬有製薬	4,000,000	旅費、会合費	1,971,368
藤沢薬品工業	4,000,000	謝金 (ヒームアシスタント、他)	2,427,635
三菱化学	4,000,000	送金手数料	76,215
山之内製薬	4,000,000	物構研との共同研究費	2,100,000
		清掃、洗濯料	338,008
		雑費	51,183
小 計	52,200,000	小 計	74,947,321
先年度繰越金	54,903,495	次期繰越金	32,156,174
合計	107,103,495	合計	107,103,495

但し、味の素(株)の400万円は平成13年度後期と平成14年度前期分の合計金額である。入金部で20万円多い企業は委託経理金で或るため、それに要する税金分が加算されている。この他、物構研経費から1,800,000円(この分は15年度に繰り越した)、及び物構研との共同研究費から1,750,000円を備品費及び消耗品費として物構研との共同研究のために使用させて頂きました。

運営委員長・坂部知平

2. 成 14 年度収支監査 (櫻井正博)
平成 14 年度収支監査報告がなされた。
審議の末、平成 14 年度収支決算が承認された。
3. 平成 15 年度予算案 (坂部知平)
表 3. に従い平成 15 年度予算案の説明がなされた。

表 3. 平成 15 年度予算
自 平成 15 年 4 月 1 日
至 平成 16 年 3 月 31 日

収入の部		支出の部	
味の素	4,000,000	物構研経費	16,400,000
エーザイ	4,000,000	FAIS経費	2,360,000
キリンビール	4,000,000	建設費;Server, network等交換	5,000,000
協和発酵	4,000,000	計算機、電子部品、保守費	1,200,000
三共	4,000,000	建設費外の備品費、保守費	2,000,000
塩野義製薬	4,000,000	プログラム整備、保守費	1,200,000
生物分子工学研究所	4,200,000	印刷、通信費、電話代	3,200,000
第一製薬	4,200,000	消耗品費	1,400,000
中外製薬	4,200,000	人件費	17,000,000
萬有製薬	4,000,000	旅費、会合費	1,500,000
藤沢薬品工業	4,000,000	謝金 (ヒームアシスタント、原稿料他)	2,000,000
三菱化学	4,000,000	送金手数料	100,000
山之内製薬	4,000,000	物構研との共同研究費	2,100,000
		清掃、洗濯料	400,000
		雑費	100,000
小 計	52,600,000	小 計	55,960,000
先年度繰越金	32,156,174	次期繰越金	28,796,174
合計	84,756,174	合計	84,756,174

但し、味の素(株)の400万円は平成15年度後期と平成16年度前期分の合計金額である。入金の中で20万円多い企業は委託経理金で或るため、それに要する税金分が加算されている。この他、物構研経費から3,600,000円(平成14年度からの繰り越金1,800,000を合わせた金額)、及び物構研との共同研究費から1,750,000円を備品費及び消耗品費として物構研との共同研究のために使用させて頂く予定です。

運営委員長・坂部知平

支出の部中、建設費は報告4で述べた Server の交換及び network 一部交換の費用である。Server は HP の AlphaServer DS25 で主な仕様は Alpha21264 1000MHz×1CPU, 8MB キャッシュメモリー、1GB メモリ、146.8GB HDD×6 である。

審議の中で、委託経理金の税金に関する取り扱いにミスのあることが委員より指摘され、修正された。それ以外は原案通り承認された。なお、表3は修正され承認された数値である。

4. 企業代表の交代について (坂部知平)

SBSB 建設当時から今日まで企業代表として SPSB の維持及び発展に寄与して下さった三共の畠忠氏が平成16年4月末日を持って三共(株)を退職する予定なので、後任の企業代表に付いて審議が行われ、エーザイの川上善之氏を選出された。川上善之氏への交渉は畠忠氏が行うことが決定された。

追記：後日、川上善之氏より承諾の返事を頂いた。

5. その他

報告6. 塩野義製薬脱会に伴い、脱会に関するルールについて決めておこうという提案がなされた。審議の結果次の2点が決定された。

- 1) 脱会後再加入を希望する場合建設費4千万円は脱会が1回のみ免除される。即ち再度脱会した場合当初納めた建設費の権利は消滅する。
- 2) 脱会に当たり脱会してから半年間は建設費の権利を他企業に譲る権利を有する。即ち、その権利を譲り受けた企業は入会に際し、建設費4千万円を支払う必要はない。